

2026 年 9 月 8 日
東日本旅客鉄道株式会社

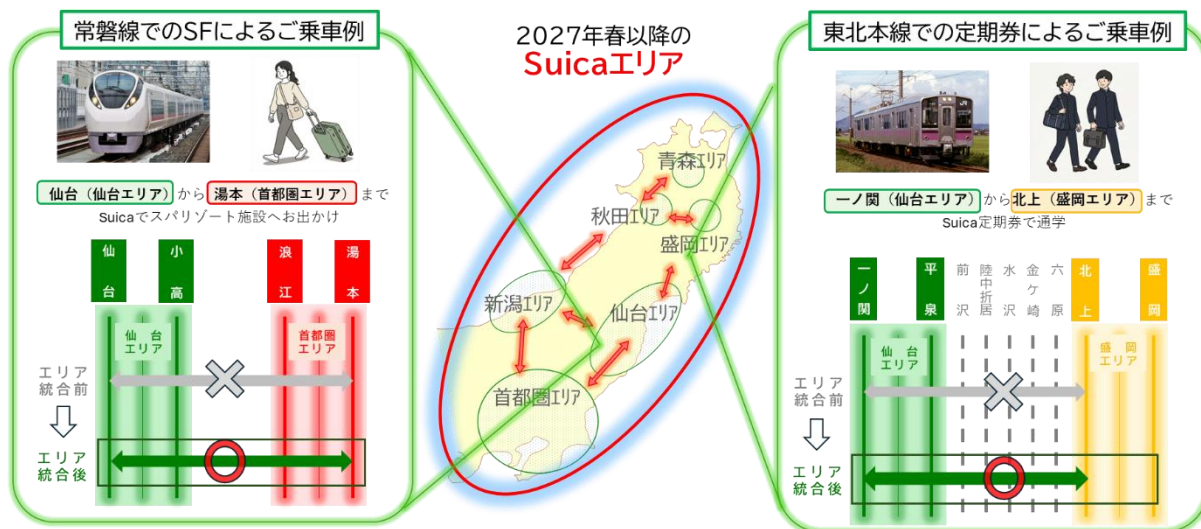
「Suica Renaissance」 第 5 弾 ～2030 年代初めに JR 東日本全駅で Suica をご利用いただけるよう目指します！～

- JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「勇翔 2034」に掲げる、鉄道を中心とした「モビリティ」と「生活ソリューション」のそれぞれの成長、両者のシナジーによる二軸経営を支えるため、「Suica Renaissance」を推進しています。
- 2023 年 5 月より順次進めてきた、運賃計算処理におけるセンターサーバー方式(以下「新しい Suica 改札システム」)の導入が 2026 年度末に完了します。これにより、当社管内全駅の乗降における運賃計算が可能となることから、現在 6 つに分かれている Suica 利用エリアが 1 つに統合されるとともに、Suica の導入がこれまで以上に加速できることとなります。Suica は「6 つの利用エリア内でのみ利用可能」という当たり前を超え、シームレスなご利用を実現します。
- さらに、新たな改札ソリューションの開発を進め、「どこでも改札(仮称)」の導入により、2030 年代初めに当社管内全駅で Suica をご利用いただけるようにします。

1 6 つの Suica 利用エリアの統合

現在、Suica の利用エリアは 6 つ（首都圏・仙台・新潟・青森・盛岡・秋田）に分かれており、エリアをまたいで Suica のチャージ残高（SF）や Suica 定期券で、タッチ&ゴーによるご乗車ができません。

「新しい Suica 改札システム」の導入完了に伴い、2026 年度末に 6 つの利用エリアを JR 東日本全体で 1 つに統合します。これにより、Suica をご利用いただける駅の相互間でタッチ&ゴーによるご乗車が可能になるとともに、Suica の導入をこれまで以上に加速させます。



※サービス開始日などの詳細は、決まり次第お知らせします。

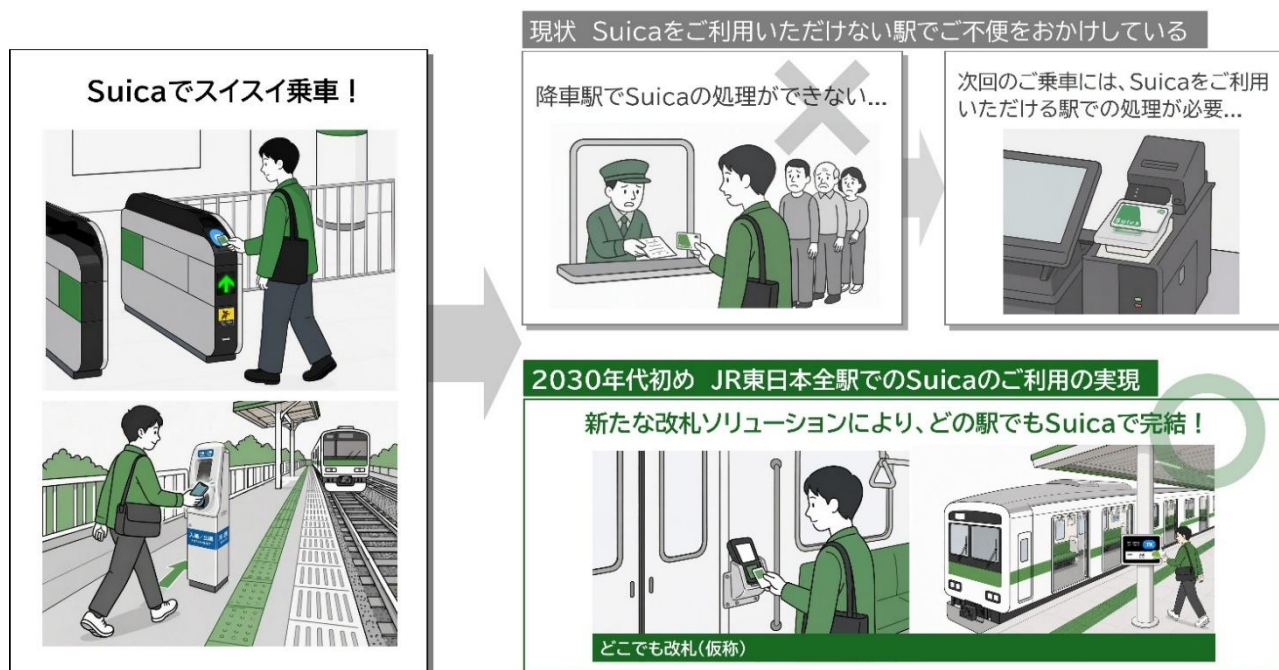
2 JR 東日本全駅での Suica のご利用の実現

(1) 概要

2026 年度末に「新しい Suica 改札システム」の導入が完了することで、Suica 利用エリアを 1 つに統合し、JR 東日本全駅で Suica をご利用いただける基盤が整います。

当社管内で Suica をご利用いただける駅の割合は、Suica 利用エリアを統合する 2026 年度末では約 60%ですが、現在開発を進めている「どこでも改札（仮称）」によって、2030 年代初めに 100%を目指します。

これにより、きっぷのご購入の手間や、Suica をご利用いただけない駅で降車するお客さまが現金で精算し、次に Suica でご乗車する際、Suica をご利用いただける駅で前回入場記録の取り消し処理を受ける必要がある、といったご不便を解消します。



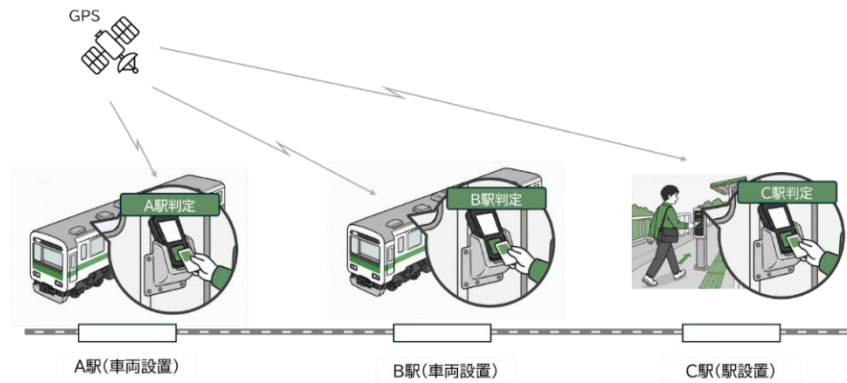
(2) 新たな改札ソリューション

これまで、位置情報等を活用した改札方式(以下「スマホ改札（仮称）」)によって 2030 年代中頃までに JR 東日本全駅で Suica をご利用いただけるようにする計画でしたが、より早期に実現するため、2030 年度から「どこでも改札（仮称）」を「スマホ改札（仮称）」に先行して順次導入します。

① どこでも改札（仮称）

Suica カードやモバイル Suica のタッチ処理をタブレット端末などで行う改札方式です。車両や駅に柔軟に設置できる汎用的な端末を活用することで、これまで Suica をご利用いただけなかった駅での Suica サービスをスピーディーに実現します。運転本数の少ない線区の列車への搭載も検討しており、GPS 機能により 1 台の端末で複数駅に対応することで、Suica をご利用いただける場面を広げます。

設置イメージ



特徴

- ・汎用端末を活用して、これまで Suica をご利用いただけなかった駅でも、スピーディーにサービスを提供
- ・Suica カードとモバイル Suica のタッチ、どちらにも対応

端末イメージ



② スマホ改札（仮称）

「どこでも改札（仮称）」導入後、2030 年代中頃の実現を目指して開発している、お客さまのスマートフォンを活用した新たな改札方式です。GPS など、スマートフォンの機能を活用することで、駅の入場・出場処理が可能となります。駅に改札機などの機器を設置することなく、Suica サービスを拡大することができます。

イメージ



特徴

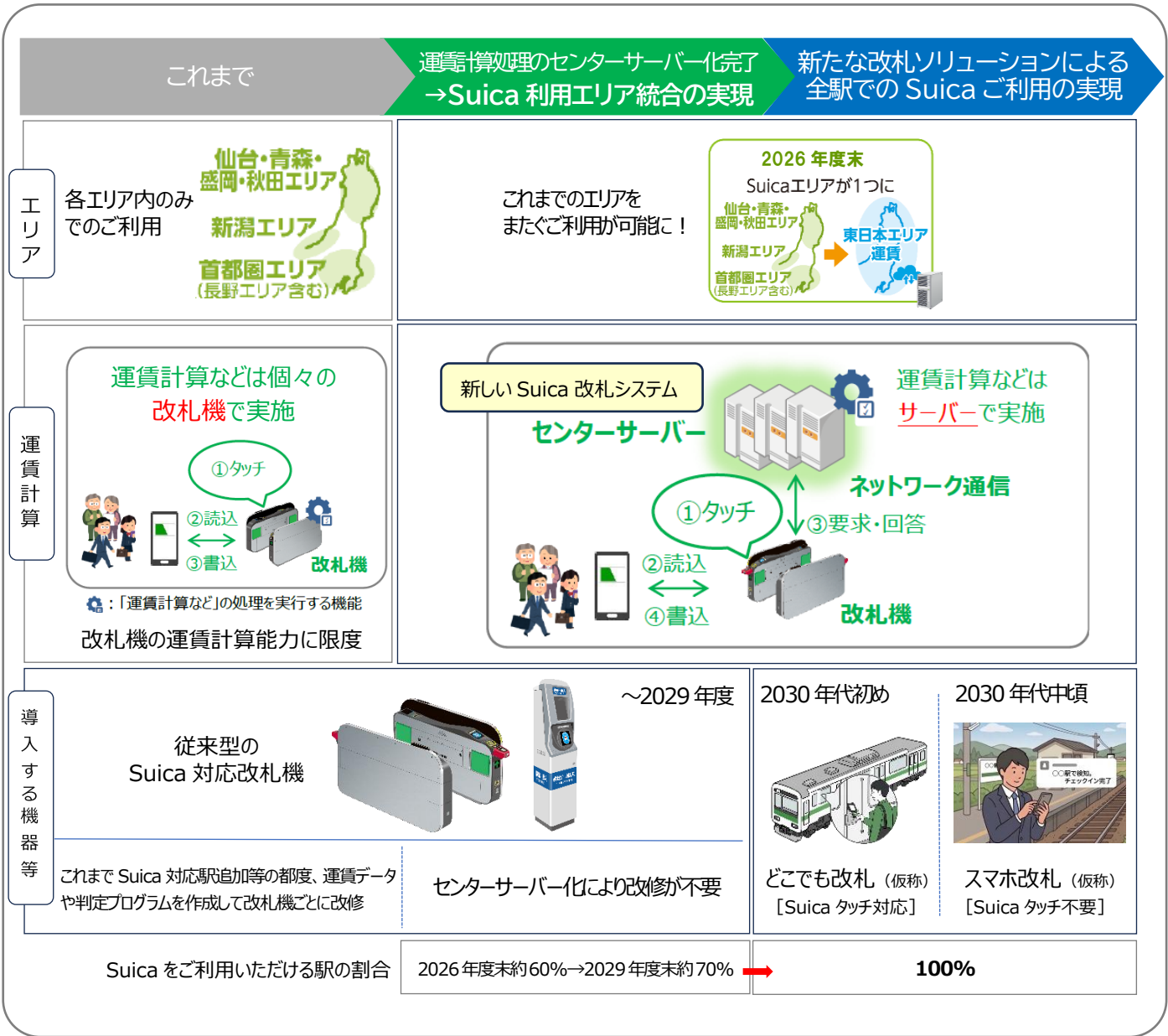
- ・お客さまご自身のスマートフォンで利用可能
- ・GPS などを活用して入出場を判定
- ※モバイル Suica によるサービスであり、Suica カードは利用不可

3 心豊かな生活の実現に向けて

JR 東日本全駅での Suica のご利用の実現により、これまでは Suica 利用エリア外であった地域のお客さまにも「移動と少額決済のデバイス」から「生活のデバイス」へと進化した Suica のサービスをご利用いただくことができるようになります。地域の新たな「当たり前」を創る「ご当地 Suica」や、生活ソリューションと鉄道ソリューションを組み合わせた鉄道・生活クーポンのご利用等が可能になります。

Suica を通して、地域の DX、生活の DX を促し、都市と地域を繋ぎ、JR 東日本のすべてのエリアでお客さまに応じた体験価値（ライフ・バリュー）を創造して「心豊かな生活」を実現します。

4 JR 東日本全駅での Suica ご利用の実現に向けたロードマップ



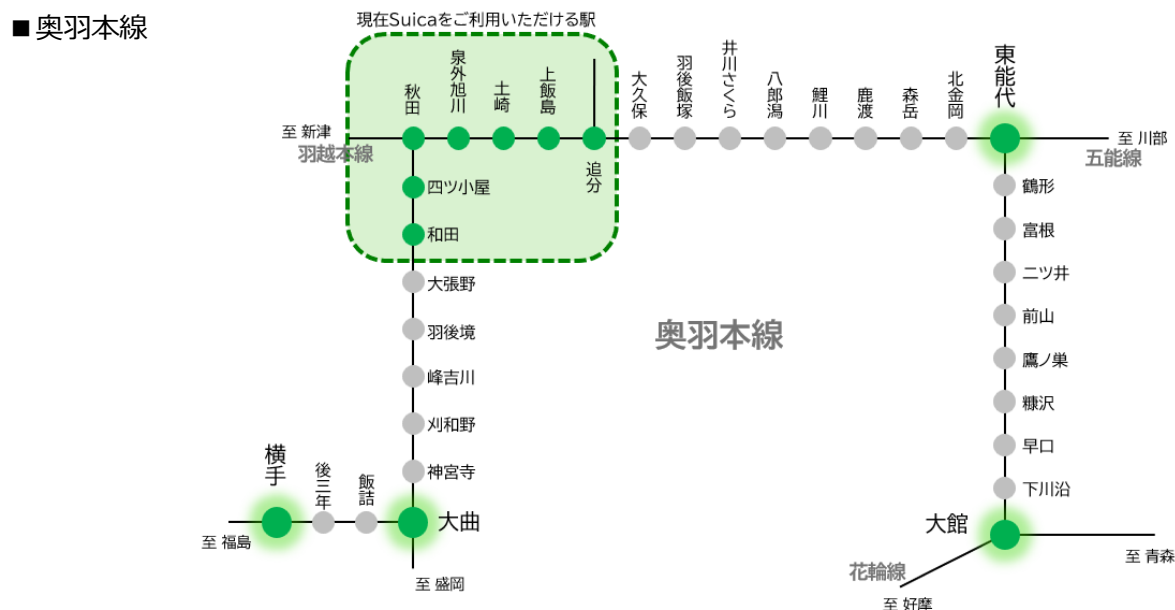
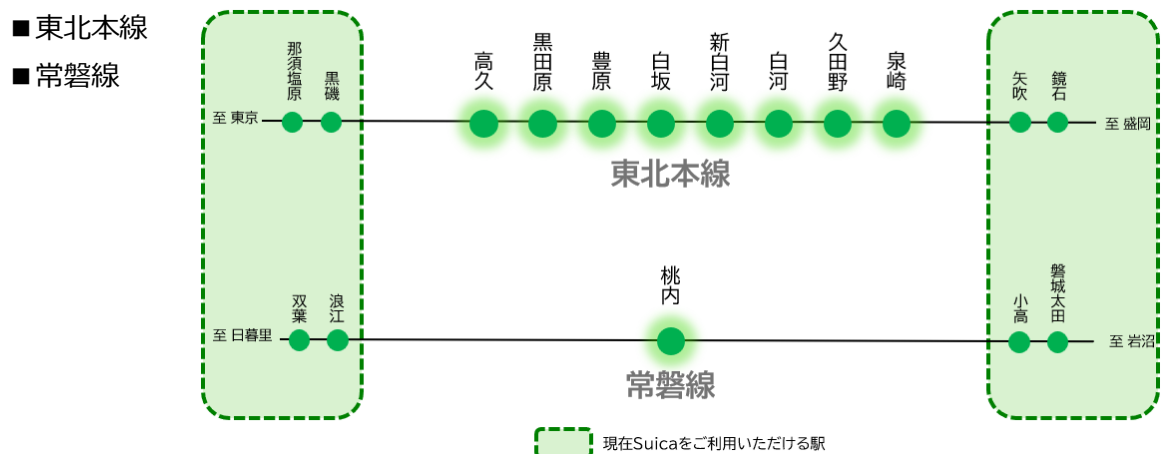
※イラストは生成 AI で作成しています
※「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

【別紙】 2026 年度末に新たに Suica をご利用いただける駅（32 駅）

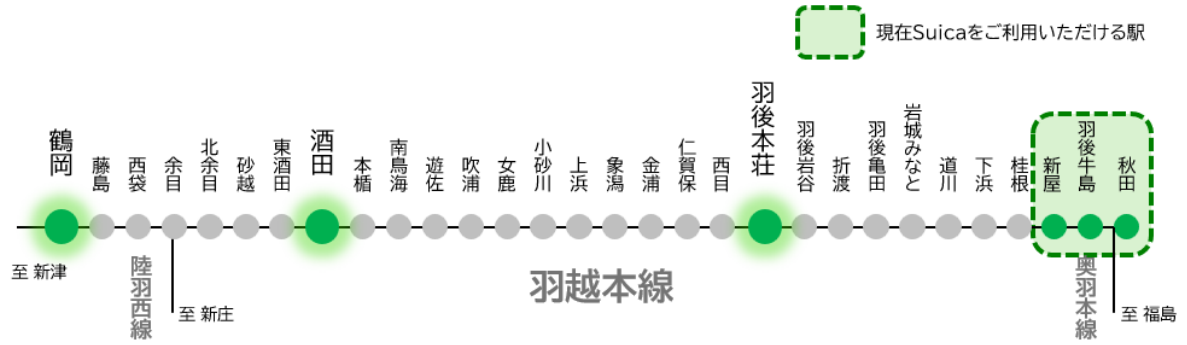
サービス開始日などの詳細は、決まり次第お知らせします。また、これ以降の追加についても、決まり次第順次お知らせします。

線区	対象駅
東北本線	高久、黒田原、豊原、白坂、新白河、白河、久田野、泉崎
常磐線	桃内
奥羽本線	横手、大曲、東能代、大館
羽越本線	鶴岡、酒田、羽後本荘
大船渡線	気仙沼
上越線	越後中里、岩原スキー場前、越後湯沢、石打、上越国際スキー場前
久留里線	祇園、上総清川、東清川、横田、東横田、馬来田、下郡、小櫃、俵田、久留里

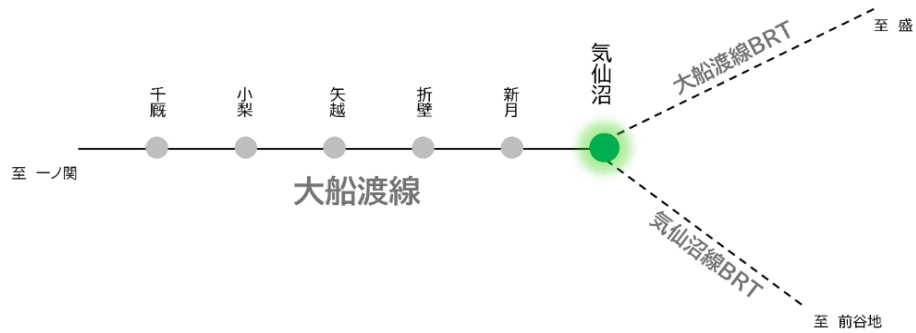
※久留里線：2026年2月17日プレスリリース済み



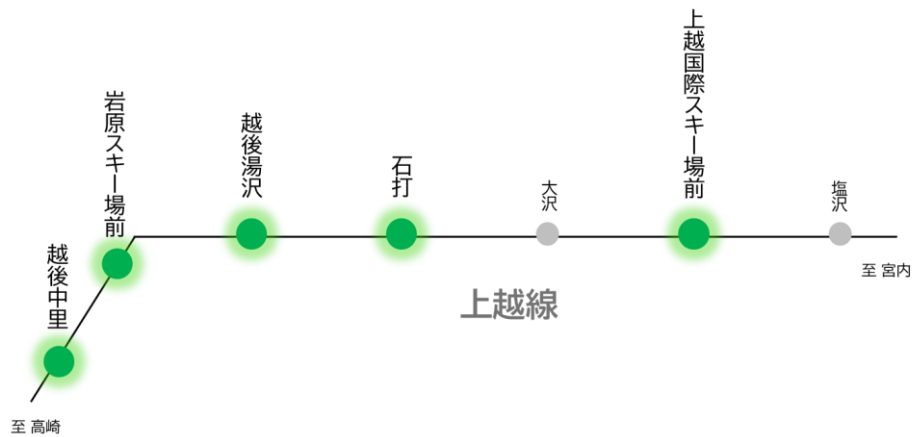
■羽越本線



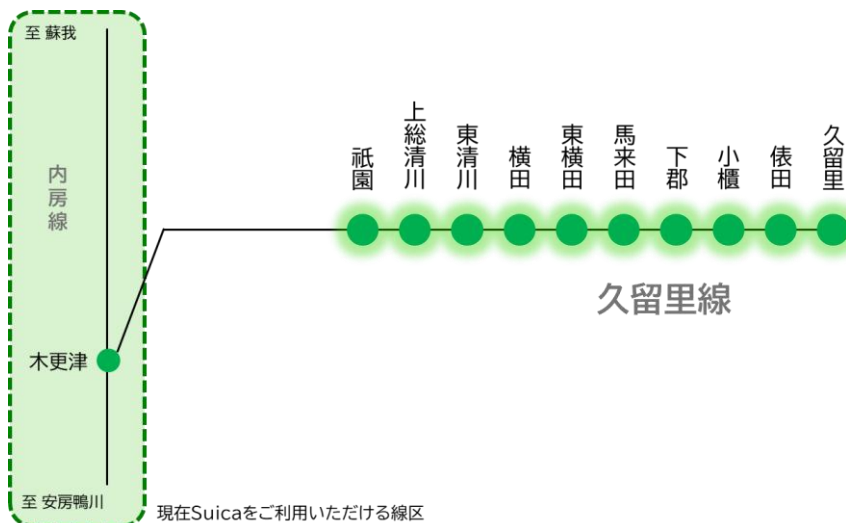
■大船渡線



■上越線



■久留里線



<参考>

1 Suica Renaissance の概要

- (1) 2024 年 12 月 10 日プレスリリース「Suica の当たり前を超えます ～Suica Renaissance～」

https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241210_ho03.pdf

- (2) 2025 年 11 月 11 日プレスリリース「Suica Renaissance」第 2 弾

～「少額決済・事前チャージ」という当たり前を超える～

～「Suica のペンギン」の卒業、そして新たなイメージキャラクターの誕生へ～

https://www.jreast.co.jp/press/2025/20251111_ho02.pdf

- (3) 2025 年 12 月 9 日プレスリリース「Suica Renaissance」第 3 弾

～「ご当地 Suica」で地域の“不”と“負”を解決し、“豊”を創出します～

https://www.jreast.co.jp/press/2025/20251209_ho03.pdf

- (4) 2026 年 6 月 9 日プレスリリース「Suica Renaissance」第 4 弾

～新幹線 e チケットを、駅でも最短 1 分で購入いただけます～

https://www.jreast.co.jp/press/2026/20260609_ho02.pdf

2 新しい Suica 改札システムの概要

2023 年 4 月 4 日プレスリリース「新しい Suica 改札システムの導入開始について」

https://www.jreast.co.jp/press/2023/20230404_ho02.pdf

3 久留里線における Suica 利用エリア拡大

2026 年 2 月 17 日プレスリリース「久留里線における Suica ご利用エリアの拡大について」

https://www.jreast.co.jp/press/2025/chiba/20260217_c01.pdf